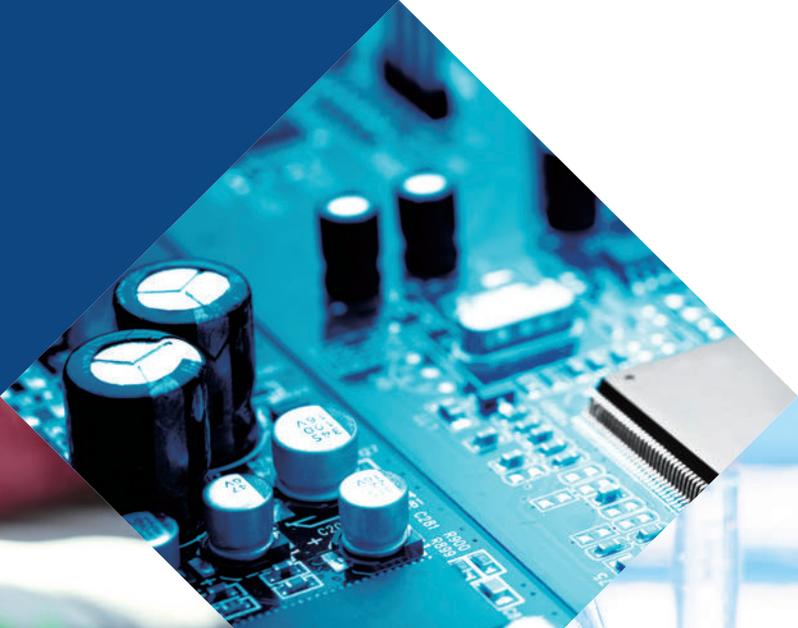




UNITE JAPAN INC.



CSR REPORT 2021

企業理念

▶ **新たな価値の創造**

未来に向け、社会に貢献できる研究・開発を推し進めて、人々に喜んでいただける新しい価値をつくり出し、豊かな社会づくりを目指す。

▶ **国際協調と競争のバランスを保ちながら着実に成長**

グローバル活動を促進しながら各地域に根づいた企業活動を通じて、着実な成長と発展に取り組む。

▶ **個人の創造性、自発性を大切に**

個人の創造性、自発性を大切にし、各領域で本領発揮できる企業カルチャーをつくる。

会社概要

設立／2007年8月

事業内容／日本の先端材料と中国資源商材の日中間を中心とするグローバルな輸出入業及び物流サービス業

取扱商品／電子材料、化成品、医薬中間体、個人消費材など

事業所／本社(岡山)、支社(東京)

海外関連会社／福建日聯国際貿易有限公司、福建聯合新材料科技有限公司、日聯集団

編集方針

本レポートは、当社のCSR活動の取り組みについて、ステークホルダーの皆様にご理解いただくとともに、皆様とのコミュニケーションを促進していく重要な媒体と位置づけています。

<対象範囲と期間>

【対象期間】2020年4月1日～2021年3月31日

【発行】2021年10月

【参考にしたガイドライン】◎ISO26000ガイドライン
◎GRIサステナビリティ・レポートिंग・スタンダード

目次

企業理念／会社概要／編集方針／目次 02
 トップメッセージ 03

Environment／環境

環境活動への考え方 04
 環境活動方針 04
 事業上の環境保護活動 05
 活動体制 05
 「汚染の予防」への取り組み 06
 「持続可能な資源の利用」への取り組み 07
 「気候変動の緩和及び気候変動への適応」への取り組み 08
 「環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復」への取り組み 09

Social／社会

ステークホルダーについて 10
 お客様への取り組み 10
 お取引先様への取り組み 11
 地域社会への取り組み 11
 社員への取り組み 12

Governance／企業統治

コーポレート・ガバナンス 14
 コンプライアンス 14
 リスク・マネジメント 16
 情報セキュリティ 17
 CSRマネジメント 18
 マテリアリティ(重要課題)の特定 18
 SDGsへの取り組み 18
 目標と成果 19

Top Message

持続可能な社会の実現を目指し 社会課題の解決に資する企業経営を 実践します

現在、新型コロナウイルス感染の拡大により、世界状況は大きく変化しています。
ビジネス分野においても、ヒトとモノの往来制限によって経済活動が停滞するなど、
多大な影響が出ています。

しかし、ワクチン開発や急速なデジタル化により、社会はこの危機を乗り越えようとしています。
このように、コロナ禍を受けて社会経済は大きく変容し、
世界は今、歴史的な転換期を迎えています。

我々はこの変化に順応すべく、ステークホルダーの皆様により信頼していただける
サービスの提供を目指し、品質マネジメントの国際規格であるISO9001の認証を取得しました。

また、気候変動の問題をはじめとする環境課題解決への取り組みとして、
ISO14001の認証も取得しました。社会経済的ニーズとバランスをとりながら環境を保護し、
変化する環境問題に対応する企業経営を実践していきます。

ユナイトジャパンは今後も、皆様の期待以上の企業価値を創造し、
デジタルトランスフォーメーションを活用した新しいビジネスの創出などを通じて、
持続可能な経済・社会の構築に貢献する会社創りを目指してまいります。

黄 琳





▶ 環境活動への考え方

企業の社会的責任として、事業活動に伴う環境負荷の低減に貢献する環境経営に努めています。
また、企業全体で環境経営を推進するために環境活動方針を定め、全社員で方針を遵守した行動を徹底しています。

▶ 環境活動方針

1 汚染の予防

取扱商品の特性から「品質至上」を経営の基本として、豊かな社会づくりに貢献する商品の提供に努めています。その過程で取り扱う化学物質による汚染予防対策として、技術革新への取り組みをはじめ、お取引先様、地域社会、社員との情報交換や講習会などの啓発活動も推進し、使用量及び環境への排出を削減する取り組みを行っています。

P06参照

2 持続可能な資源の利用

商品・サービスの企画・設計段階から環境に配慮し、省資源でリサイクルしやすい原材料の利用や資源循環の取り組みを推進しています。また、オフィス活動でもリサイクルを促進しています。

P07参照

3 気候変動の緩和及び気候変動への適応

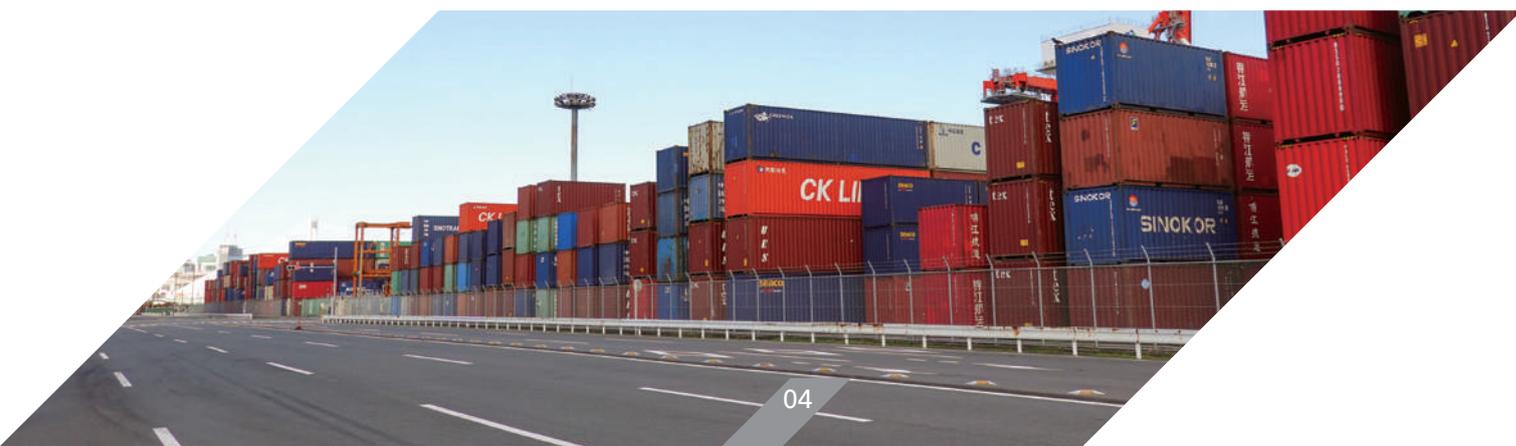
地球温暖化対策として二酸化炭素の排出量を削減するため、環境物流に取り組んでいます。また事業所では、冷房・暖房の温度管理を徹底するなど、さまざまな取り組みを行っています。

P08参照

4 環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復

企業活動や商品・サービスの提供、社会貢献活動を行う際には、自然資本に与える影響を踏まえ、自然環境の保護や生物多様性の保全などに努めています。

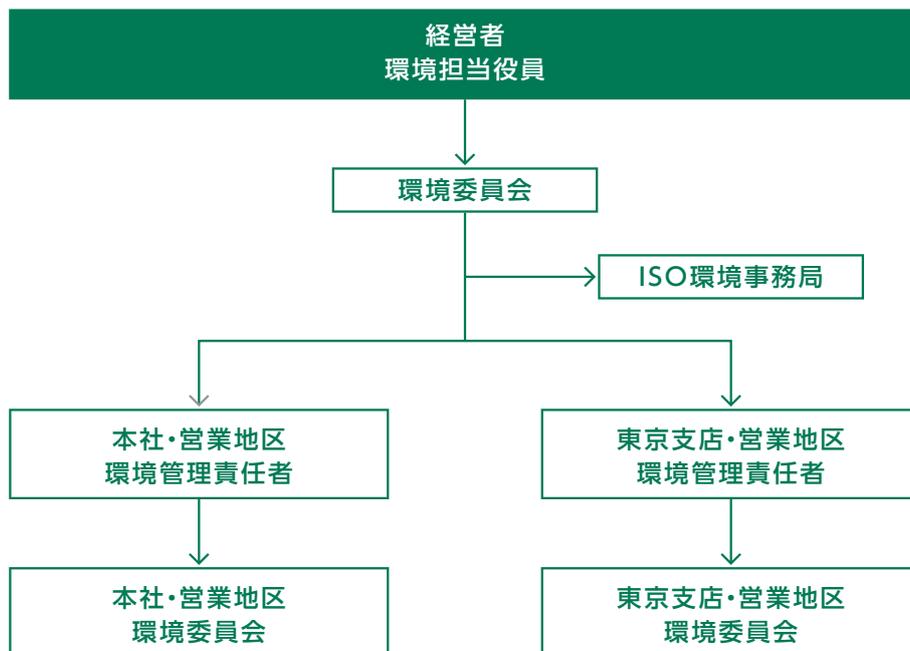
P09参照



▶ 事業上の環境保護活動

ユナイテッドジャパンの事業活動は、地球環境と密接に関わっていることから、環境保全ならびに生物多様性の維持・保全に十分配慮することが、とても重要な課題であると認識しています。そこで、塗料や油脂などの溶剤として環境対応型の商品を積極的にお客様へご紹介し、環境対応を推進されている多くのお客様から評価をいただいています。価格の観点から導入に至らない場合もありますが、収益よりも環境保護活動を重視する姿勢を全社方針として貫き、今後も環境に優しい商品の提供を推進していきます。

▶ 活動体制



環境意識の高まりに対応し、 安全で高品質の環境対応型溶剤を提供。

これまで、油性塗料では主に、トルエンやキシレンなどが溶剤として使用されていました。ところが最近、これらの溶剤が空気や人体に悪影響を及ぼすことが問題視されてきました。そこでユナイテッドジャパンではトルエン・キシレンの代替商品として、環境対応型溶剤のデカリン(DHNA)やテトラリン(THNA)をお客様に紹介しています。

これらの商品は低毒性で高度な安全性を実現しています。法規上の制約も少なく、取り扱いも簡単。汚れの除去能力に優れているうえ、排水処理の負荷も低減できる特性を有しています。こうした特長から、多くのお客様で導入が進んでいます。また、当社の環境保護に取り組む姿勢を高く評価していただき、引き続き環境対応型商品を紹介してほしいという要望が寄せられています。

▶ 「汚染の予防」への取り組み

ユナイテッドジャパンは、2021年4月、ISO14001を取得。
低Naアルミナ、特殊溶剤など、環境により良い製品について、クォーターごとに販売目標を設定。数値管理を行うことで、売上拡大に尽力しています。



目標-実施計画表(品質2020,2021年度)

部署目標、実施計画						目標値(kg)				
管理番号	目標 (指標、目標値、完了時期)	実施事項(手順)・資源・評価方法等	部署	責任者	1Q (1-3月)	2Q (4-6月)	半年 (1-6月)	3Q (7-9月)	4Q (10-12月)	年間
品質環境03	環境によりよい製品を積極的に取り扱う	実施事項 低Naアルミナを今期拡販に注力。 ・可能な限り顧客の購入計画を入手するよう営業活動を意識。 ・顧客の進捗状況、FC情報を密にメーカーと共有、スムーズかつ正確に対応してもらえるように。 評価方法 クォーターごとに注文実績確認。	営業部	MS管理責任者	1000	1000	2000	1000	1000	4000
品質環境04	高品質、環境によりよい製品拡販につなげるような新規ユーザー開拓	実施事項 低Naアルミナの新規マッチングユーザーの開拓。 評価方法 クォーターごとに社内監査、査定。 新規ワーク顧客をリストアップを確認。	営業部	MS管理責任者	10	10	20	10	10	40

エコキャップ活動で子どもたちへのワクチンの支援をサポートしています。

エコキャップ運動は、ペットボトルのキャップを収集し、そのリサイクルで発生した収益金で開発途上国の子どもたちへワクチンを届けようという活動です。ユナイテッドジャパンはその意思に賛同し、各オフィスでエコキャップ活動を実施し、地域の指定機構に寄付しています。



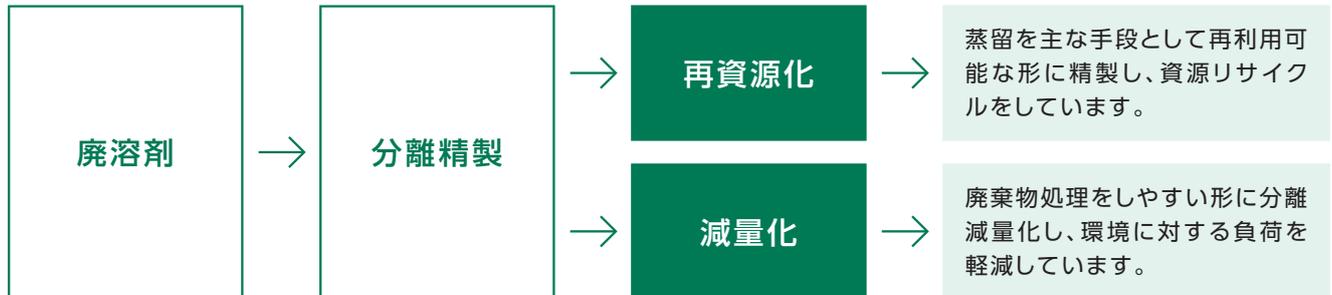
▶ 「持続可能な資源の利用」への取り組み

取引先である東洋化学工業社と連携し、溶剤リサイクル活動を積極的に行うとともに、家電リサイクルなどの再利用に全社で取り組んでいます。

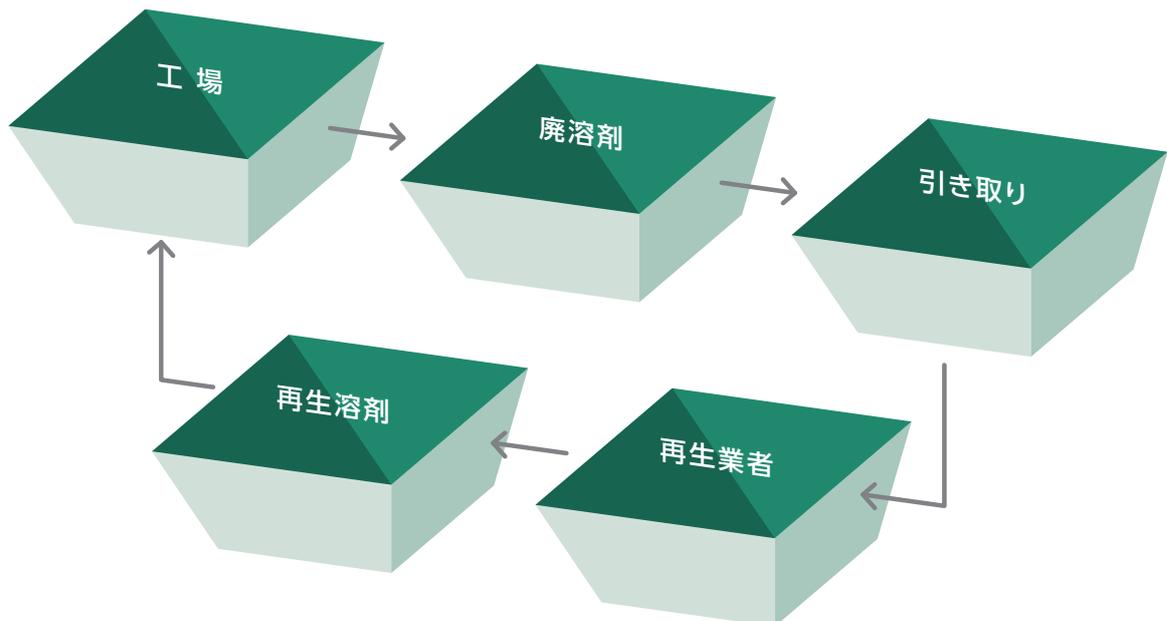
溶剤リサイクル活動

限られた資源を有効活用することで地球環境保全に貢献することを目指し、省エネルギー・省資源対策を進めています。

リサイクルチャート図



溶剤リサイクルの仕組み





▶ 「気候変動の緩和及び気候変動への適応」への取り組み

事業上で環境物流や梱包材の削減に取り組むとともに、事業所では節電・節水に取り組んでいます。

環境物流の推進

エネルギーの使用を合理化し、関連法律(省エネ法)を遵守するために、環境負荷を低減するグリーン物流に取り組んでいます。

物流に伴う二酸化炭素排出量

業務(輸出入)に伴って発生する二酸化炭素の試算排出量は右記のとおりです。

年度	試算排出量(t-CO ₂)
2018	30
2019	28
2020	26.5
2021(目標)	26

梱包材の削減

環境保護対策の一環として、物流関連を中心に貨物、商品に関する梱包材の使用簡略化を掲げ、目標を設定したうえで取り込んでいます。

梱包材の簡略化目標と実績

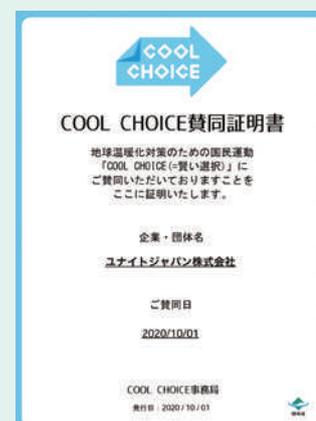
(単位:本数*)

年度	内容	目標値	実績	達成率
2018	事務用梱包材	5	4.5	90%
	貨物用梱包材	20	19	95%
	物流用梱包材	10	9	90%
2019	事務用梱包材	4.5	4	89%
	貨物用梱包材	19	18.9	99%
	物流用梱包材	9.5	9	95%
2020	事務用梱包材	4	4	100%
	貨物用梱包材	19.5	18.5	94%
	物流用梱包材	9	9	100%
2021	事務用梱包材	3.5	—	—
	貨物用梱包材	18	—	—
	物流用梱包材	8	—	—

※エアークッションライトプチ600mm×42mの本数

「COOL CHOICE」賛同企業に登録しています。

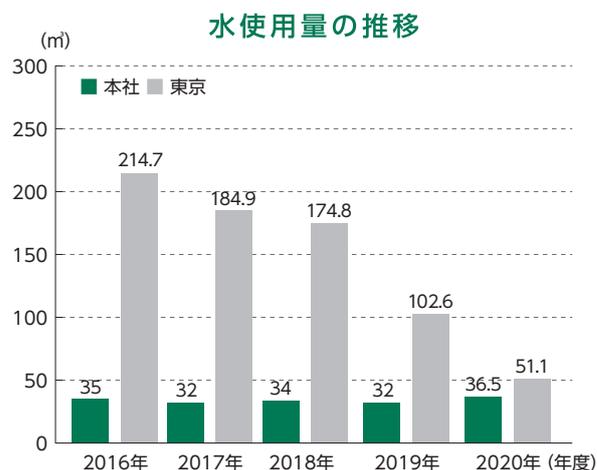
「COOL CHOICE」は、2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動などを選択し、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。ユナイテッドジャパンはこの運動に賛同し、賛同企業として登録しています。



電気・水使用量

節電や節水など、全エネルギーの削減・合理化を継続して進めています。

今後も引き続き、省エネタイプの機器導入や照明のLED化など、省エネに取り組んでいきます。



▶ 「環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復」への取り組み

ユナイテッドジャパンは、自然体験が生物多様性の保存につながると考えています。

この考えに基づき、2021年から環境教育NPOと連携し、

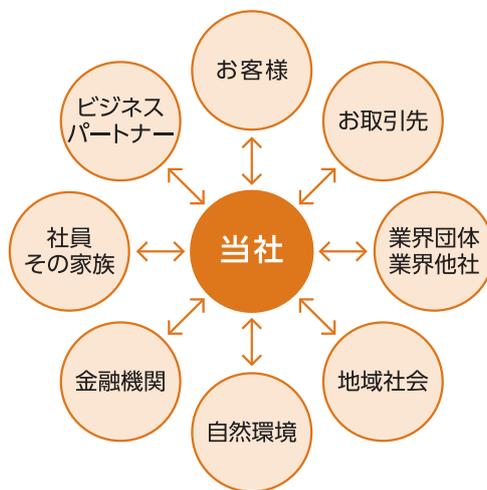
自然保有地である鳥取県蒜山で環境を守ることの大切さを教える活動を行っています。





▶ ステークホルダーについて

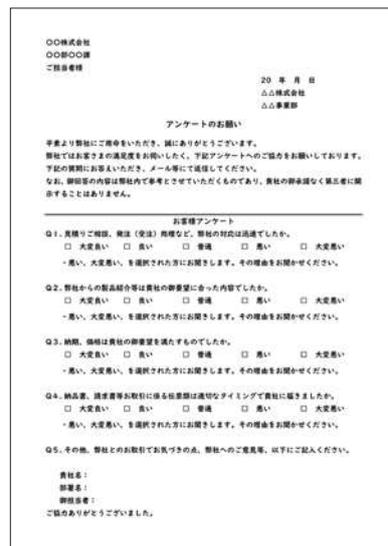
ユナイテッドジャパンでは、製品・サービスを提供している「お客様」をはじめ、仕入先などの「お取引先様」や「ビジネスパートナー」「金融機関」「業界団体」、事業を行っている「地域社会」、そして共に働く「社員」を主なステークホルダーと位置づけています。加えて、事業活動が影響を及ぼす対象として「自然環境」も重視しています。ステークホルダーへの約束として「新たな価値の創造」「国際協調と競争のバランスを保ちながら着実に成長」「個人の創造性、自発性を大切に」といった企業理念に基づいた活動を追求し、ステークホルダーとのさまざまな対話を企業運営に反映しています。



▶ お客様への取り組み

安全・安心で価値ある製品・サービス・情報・サポートの提供に努め、お客様の心からの満足を目指しています。日常の営業活動やお客様向けセミナー、問合せ窓口を通じたコミュニケーションを推進。また、顧客アンケートも実施、集計して営業活動に活かしています。

品質管理においては、輸出入業務で輸出入前に必ず商品の「検査成績書」を入手。オリジナルの品質チェックシートを活用し、安全性データシートやテクニカルデータなどの資料と内容を照合しながら確実な品質チェックを行っています。2021年4月にはISO9001(品質マネジメントシステム)も取得、今後も引き続き、品質管理の改善・向上に努めてまいります。



顧客アンケート



ISO9001(品質マネジメントシステム)を取得

品質チェックシート

No.	チェック項目	チェック内容	合否	担当
1	受注文番号	受注、注文番号を照合		
2	数量	受注、注文数量を確認		
3	検査成績書	検査成績書の添付有無		
4	品質	測定値はスペックインか?		
5	梱包	梱包の破損有無		
6	法規制	法規制に準じるか?		
7	ラベル	危険品であれば、義務付けであるラベルの貼付?		

▶ お取引先様への取り組み

ユナイテッドジャパンでは、お取引先様は企業理念の実現に向けて共に歩むパートナーであると考えています。調達方針に基づき、公正で透明な取引を基本に、健全なパートナーシップと良好な信頼関係の維持・構築を進めるとともに、持続可能な調達にも取り組んでいます。

お取引先様とのビジネスに際しては、各社の商品・サービスの品質や環境への取り組みなどを公平・公正に評価し、パートナーとしての選定を判断しています。積極的に環境に優しい製品・サステナブルな素材を意識するとともに、一部鉱物製品については、パートナー企業の調達方針をしっかりと確認して取引を行っています。

また、付加価値のある先進の素材・材料・製品を取り扱う際には「秘密保持契約」「取引基本契約」「テクニカルデータ」などの書類化を確実にし、お互いの権利を厳重に保守する取り組みを実施しています。

なお、ISO9001のマネジメントマニュアルの規定に基づき、当社のサービス・活動についてクォーターごとにアンケートを実施しています。アンケートの内容・点数は集計され、分析・可視化後、PDCAで管理されています。

持続可能な調達については、Ag・プローブなどの素材の端材品をお客様のところから回収。製造メーカーに再利用してもらうような活動に力を入れています。

調達方針

- 1 ユナイテッドジャパンは、調達先の選定にあたり、品質・価格・納期のみならず技術力、経営の健全性のほか、法令遵守・環境保全・安全衛生等の体制整備状況を踏まえて、総合的に評価し、合理的に決定します。
- 2 ユナイテッドジャパンは、調達取引にあたり、契約書のほか、発注単価に関する取引先との合意資料および納品または役務提供を受けたことを証明する証拠を確保し、実態に合致した費用・原価・計上時期および手続を徹底します。
- 3 ユナイテッドジャパンは、調達取引にあたり、法令等の違反はないか、利益相反となるリスクはないか、マネーロンダリング等を通して反社会的勢力と関係をもつリスクはないか、十分に注意します。また、反社会的勢力とは絶対に関係を持たず、その要求に対しては毅然とした対応をします。
- 4 私たちは、取引開始前に調達先の実態および取引相手としての適格性を審査するほか、開始後も定期的に再審査します。また、調達先の再委託先についても可能な限り実態を把握するよう努めます。

ユナイテッドジャパン サプライチェーン・サステナビリティ行動指針

当社は企業理念である「人々に喜んでいただける新しい価値をつくり出し、豊かな会社づくりを目指す」を実現するために、下記指針に基づきサプライチェーン・サステナビリティを推進しています。

- 1 社員の人権を尊重し、非人道的な扱いを行わない。
- 2 社員に対する強制労働、児童労働を行わない。
- 3 雇用に関する差別を行わない。
- 4 不当な低賃金労働を防止する。
- 5 法的制度を超えないよう、社員の労働時間・休日・休暇を適切に管理する。
- 6 事業活動において、生物の多様性、その他環境問題に配慮、エネルギー、温室効果ガス、水、廃棄物、その他資源の削減に努める。
- 7 関係法令及び国際ルールを遵守し、公正な取引及び腐敗防止を徹底する。
- 8 上記の各項目に関する情報を適時、適切に開示を行う。

▶ 地域社会への取り組み

ユナイテッドジャパンは、「企業市民」として、地域社会や自治体、近隣企業とのよりよいコミュニティづくりに努めています。定期的な情報交換や連携、社員の積極的なボランティア活動などを通じ、地域社会や文化の発展などに貢献します。

2021年度は、神田・末広町の魅力を維持・向上させることを目指し、本社近辺のグリーンアップ活動を行いました。今後も、積極的に地域社会の振興に寄与してまいります。





▶ 社員への取り組み

ユニイトジャパンは「人権尊重」を責任ある企業活動の基盤と捉えています。人権に対する基本的な考え方を順守するとともに、社員に対しては多様性を尊重し、ワークライフバランスの推進や人材育成プログラムの実施などを推進しています。これによってすべての社員が働きやすく、能力が存分に発揮できる環境の整備に努めています。

人権の尊重に関する基本的な考え方

すべての事業活動は人権尊重を前提に成り立つものと認識しています。そのため、人権デューデリジェンス活動として、事業活動の全プロセスに関わる人権尊重に取り組んでいます。業務環境においては、社員の人格や個性、多様性を尊重し、安全で働きやすい環境を確保。同時に、ゆとり・豊かさの実現とさらなる改善にも努めています。また、入社時や昇格時、役職任用時の研修などで人権に関する幅広い教育を行い、全社員の人権尊重を推進。問題が発生したときの解決にも取り組んでいます。

ダイバーシティの推進

人権尊重の一環として、年齢、性別、国籍などに関係なく、すべての社員が多様な個性を活かして、能力が最大限に発揮できる働きがいのある職場環境の整備を推進しています。出産・育児・介護休暇制度も設置し、さまざまな労働環境にある社員が活躍できる環境を用意しています。

外国人社員比率	50% (3名)
女性管理職比率	50% (1名)

人権方針

各項目についての方針

【適用範囲】

本方針は、ユニイトジャパンのすべての役員と社員に適用します。ユニイトジャパンは、自社の製品・サービスに関係するすべてのビジネスパートナーに対しても、本方針の遵守を期待します。

【人権デューデリジェンス】

ユニイトジャパンは、人権デューデリジェンスのしくみを通じて、人権への負の影響を特定し、その防止、または軽減を図ります。

【教育・研修】

ユニイトジャパンは、本方針がすべての事業活動に組み込まれ、効果的に実行されるよう、適切な教育・研修を行います。

【雇用と労働】

- ・強制労働・児童労働の禁止
ユニイトジャパンは、各国・地域の法令で定める就業年齢に達しない児童による労働を行いません。同様に強制労働も行いません。また、ビジネスパートナーやサプライヤーに対しても同様のことを求めます。
- ・労使関係
ユニイトジャパンは、組合結成の自由と団体交渉権の承認を約束します。
- ・差別の撤廃
ユニイトジャパンは、採用や配置、昇進、能力開発における機会均等に努めます。

本方針は、当社取締役会の承認を得ており、代表取締役社長により署名されています。

制定2021年2月1日

ユニイトジャパン株式会社 代表取締役社長 黄 彬

【責任者】

ユニイトジャパンは、本方針の実行に責任を持つ担当役員を明確にし、実施状況を監督します。

【対話・協議】

ユニイトジャパンは、人権に対する潜在のおよび実際の影響に関する対応について、関連するステークホルダーと協議を行っていきます。

【救済】

ユニイトジャパンが人権に対する負の影響を引き起こした、あるいはこれに関与したことが明らかになった場合、社内内外のしかるべき手続きを通じて、その是正と救済に適切に取り組めます。

【情報開示】

ユニイトジャパンは人権尊重の取り組みについて、CSR報告書等で報告していきます。

【適用法令】

ユニイトジャパンは、事業活動を行うそれぞれの国または地域における法と規制を遵守します。国際的に認められた人権と各国の法令に矛盾がある場合には、国際的な人権原則を最大限に尊重するための方法を追求します。

働き方改革・ワークライフバランスの実現に向けた整備

柔軟な働き方やワークライフバランスの充実を図るため、業務プロセスの見直しも積極的に進めています。テレワークによる生産性を高めるため、カメラつきパソコンを全社員に支給。自宅の社員と良好なコミュニケーションを図るため、社内ではデジタル技術の導入を進め、会議室にはテレビやプロジェクターを設置したほか、ペーパーレス化も加速しました。さらに成果を重視した自律的な働き方への意識改革を進め、自社開発のプロジェクト管理システムを活用して業務を共有し、組織を超えたチームワークも促進しています。また、テレワークによる社員のストレスを軽減するため、Webによるグループミーティングを行うなど、新しい職場コミュニケーションの確立にも取り組んでいます。

2020年年間所定就業日数	236日
残業日(1人当り/年間)	20日
一日残業時間(上限)	1時間
年間残業時間(1人当り)	20時間

人材育成プログラム

社員が働きがいを持って働けるよう、ISO9001、14001のマネジメントマニュアルに規定されているとおり、定期的に社内・外部での研修を実行しています。業務で必要になる知識やスキルなどが確実に習得できる体制も整備。「人々に喜んでいただける新しい価値をつくり出し、豊かな社会づくりを目指す」という企業精神に基づいて、研修回数と対象は毎年大幅に拡充しています。また、講座開催時には常に企業精神を伝え、全社員に対するより一層の浸透を図っています。

研修実施状況

年度	人数	一人あたり平均研修時間
2018	3	12
2019	4	13
2020	8	14
2021(目標)	8	15

先進技術領域の研究開発

人材の能力開発の一環として、時代の変化や新たなビジネスニーズに対応することを目的とし、先進技術領域の研究開発をグローバルベースで推進しています。この取り組みによって社員が新たな可能性を実現したほか、外部の優秀な人材が先進の研究開発環境に魅力を感じて入社することが続き、次々に成果をあげています。

時代にマッチした労働環境の整備

新型コロナウイルスによって社会は大きな影響を受け、働き方にも変化が訪れています。こうした時代の変化を捉え、テレワークによる在宅勤務や長時間労働の是正など、柔軟な働き方の環境整備を進めています。さらに年次有給休暇の取得率100%を継続するために経営トップからのメッセージ発信なども行っています。こうした取り組みは国内に限らず、海外赴任者への適用も実現しています。

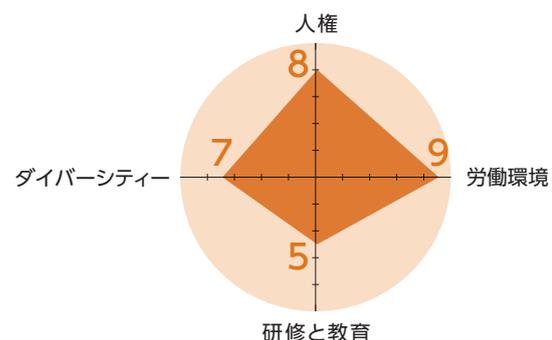
社員の安全・健康を守る取り組み

ISO9001、14001のマネジメントマニュアル規定どおり、「支店事務所の火災、地震等」、「物流事故」の対策に基づき、全社で取り組みを徹底しています。また、社員の健康を守るため、健康診断を毎年実施しています。これまで全社員が確実に受診し、自らの健康状態を確実に把握しています。また、最近では新型コロナウイルス感染症が拡大していることを受け、企業で購入したマスクを社員に無償配布し、安心・安全に働ける環境づくりに努めています。

社員とのコミュニケーション

仕事や職場環境に関する社員の意識を把握するため、定期的にアンケート調査を実施。その内容を検討し、新たな取り組みに反映しています。

社員アンケート

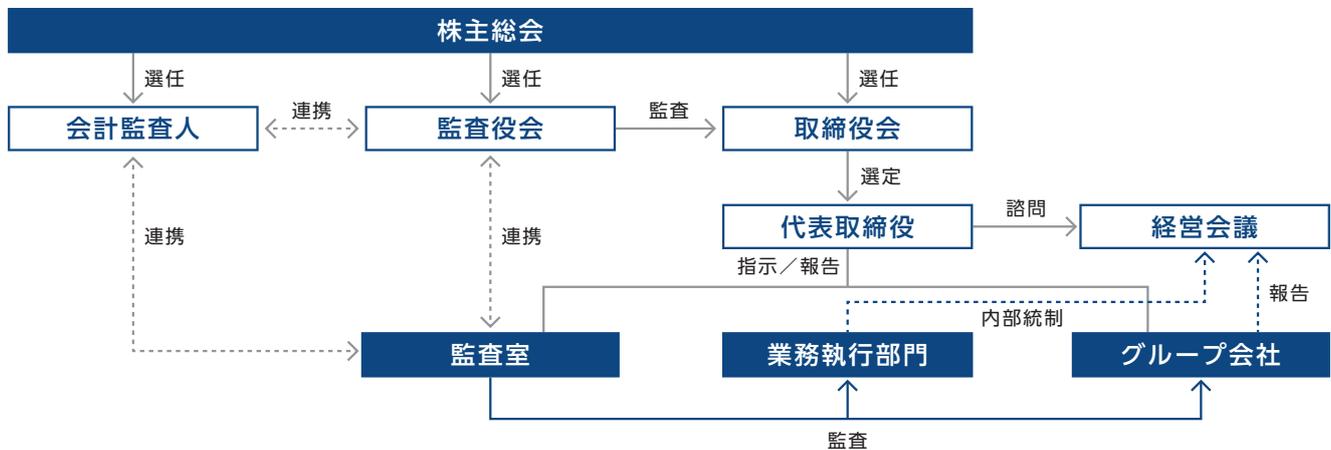




▶ コーポレート・ガバナンス

ユナイテッド・ジャパンは自社の利益だけではなく、ステークホルダーの期待と信頼に応じて社会課題の解決に努めて世の中によりよい循環を生み出し、持続可能な社会に貢献することを目指しています。また、社員一人ひとりが自らの業務において自発的に考え、お客様やお取引先様のみならず世間に対してもより良い影響を及ぼし、未来に向けて「自社の社会責任」を果たすことに取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制

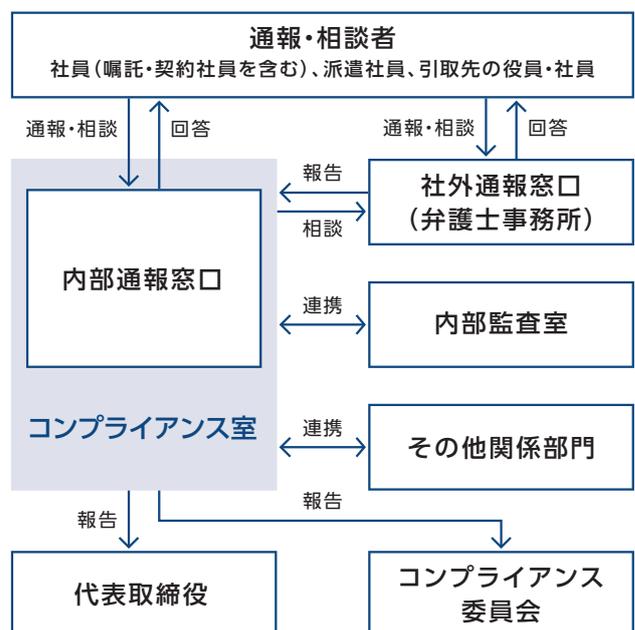


▶ コンプライアンス

代表取締役の指揮に基づいて法務部コンプライアンス室を設置し、コンプライアンスの推進方針や施策の企画・立案を行うなど、コンプライアンス推進体制の構築を推進。これにより、コンプライアンス遵守を全社員に徹底させる計画です。その一環として、期末ごとに全社員を対象に実施している個人業績評価において、コンプライアンスを遵守したことを書面で確認することの制度化を検討しています。



内部通報制度フロー図



コンプライアンス方針

ユナイテッドジャパンコンプライアンス行動規範

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | <p>法令、ルール・モラルの遵守</p> <p>私たちは、国内外の法令、社会倫理、社内規程、契約を遵守し、良き企業市民として誠実に行動します。</p> | 4 | <p>公正・自由な競争</p> <p>私たちは、公正かつ自由な競争に基づく取引を行います。</p> |
| 2 | <p>人権の尊重</p> <p>私たちは、いかなる人権侵害も許さず、人種、国籍、性別等の多様性を受け入れ、ハラスメントのない、健全で快適な職場を作ります。</p> | 5 | <p>腐敗防止</p> <p>私たちは、事業活動を実施するにあたり、国内・国外を問わず、公務員や行政等との健全かつ透明な関係を保ちます。</p> |
| 3 | <p>安全・品質・環境保全</p> <p>私たちは、製品・サービスの適正な品質を確保し、事故の発生防止と災害による損失抑制に最大限努力するとともに、地球環境の保全に十分配慮して行動します。</p> | 6 | <p>情報開示と情報管理</p> <p>私たちは、広く社会に適切な情報開示を行い、経営の透明性と健全性を確保し、会社が保有する情報の適正管理を行います。</p> |

贈賄防止基本方針

贈賄防止に関する基本方針

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | <p>贈賄の禁止</p> <p>当社は、国内外を問わず、商業賄賂規制を含む腐敗防止関連法令において規則の対象となるあらゆる対象者に対し、直接または間接を問わず、対象者の職務行為に不正に影響を与えることにより利益または便益を得ることを意図し、利益提供またはその約束を行いません。</p> | 3 | <p>監査及び制度</p> <p>事業活動における贈答、接待について各部門でルールを定め、運用することにより遵法性を維持、定期的に内部監査を行うとともに、贈賄防止体制の評価・見直しを実施。</p> |
| 2 | <p>体制整備</p> <p>本方針をすべての役職員等に遵守させます。その役職員等に対し、本方針に違反し、おそれのある行為を発見した場合は、内部通報制度などを利用して会社に報告させるものとし、当該通報をしたものに対する報復を行いません。</p> | 4 | <p>教育実施</p> <p>本方針が遵守されるよう、各役職員に対ししっかり教育を実施。</p> |
| | | 5 | <p>処罰</p> <p>役職員等が本方針に違反する場合、就業規則等に基づき、当該役職員等に対し、厳しく処罰を行います。</p> |

以上
制定:2021年1月

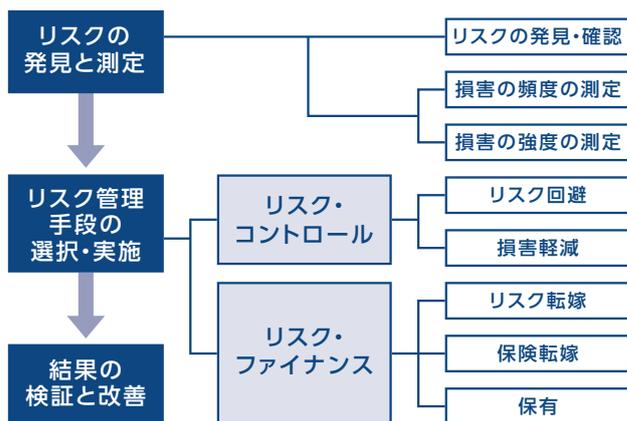


▶ リスク・マネジメント

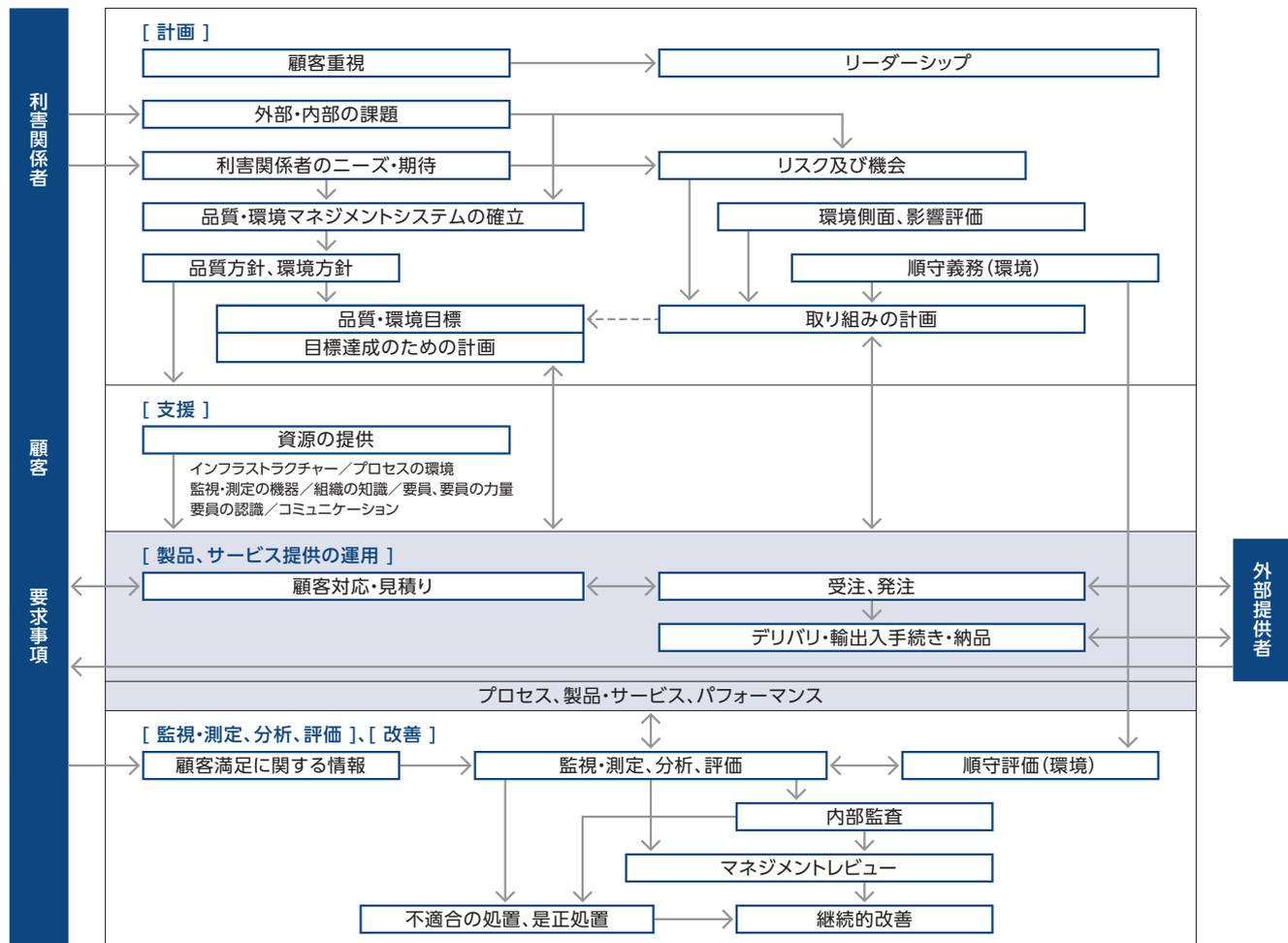
確実なリスク管理を健全な経営の構築・維持における重要な取り組みと位置づけ、ISO9001に基づいたリスク管理を確実に実行し、リスク低減と危機発生の未然防止に努めています。

サプライチェーンについては、ISO9001のマネジメントマニュアルの規定により、各サプライヤを採点式で管理。経営・サービス・問題点など多方面から情報収集を行い、点数化しています。目指しているのはリアルタイムでの管理体制の確立で、より正確かつ迅速に各サプライヤの供給体制・品質をチェックできるような体制を確立しようとしています。複数の供給元を確保することと並行し、安定した供給が行える体制を常に目指しています。

リスク・マネジメント体制



リスク・マネジメントシステム



リスクと機会

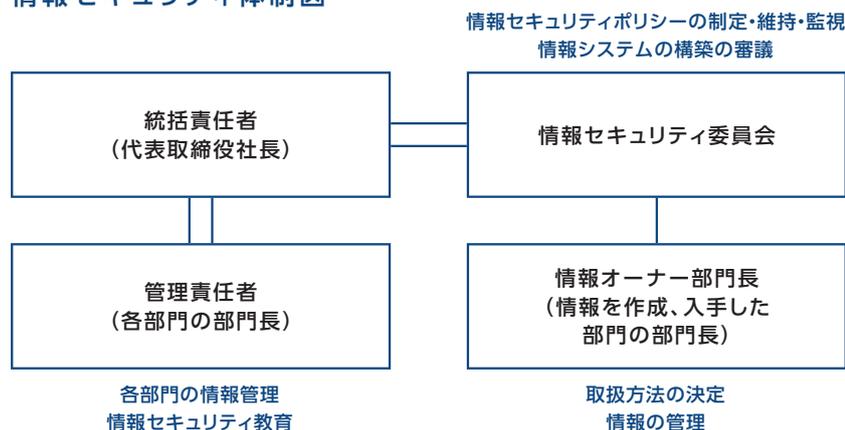
状況と課題		リスク	機会
外部	1) 通貨変動のリスク 2) カントリーリスク 3) パンデミック 4) 地球温暖化等、環境への問題意識の高まり	1) 価格変動で取引減少、利益減少 2) 取引中止。通関が停滞し納品遅れ 3) 物流が停滞して納期遅れ発生	1) 適切なリスクヘッジにより、顧客の信頼が向上
内部	1) 業務が各社員に依存している 2) 事業運営において環境問題の認識がほとんどない	1) パンデミックで業務ができなくなる	
利害関係者のニーズと期待			
顧客	A1) 製品が安定的に供給されること(品質、価格、数量、保証期間等) A2) スポット、少量の特殊品を確実に調達できること A3) 通貨変動のリスクヘッジ A4) 品質・環境マネジメントの具体的な実施 A5) 製品での環境問題(事故、トラブル等)の要因を低減する	A1) メーカー在庫不足により失注 A1) 当社手配ミスなどによる納期遅延で顧客に悪影響発生	A2) B2) メーカー、顧客の新規マッチングにより、新規取引確保、顧客の信頼向上
調達先・メーカー	B1) 継続的な取引を維持する B2) 新規顧客、新規用途の開拓	B1) 価格上昇(コストアップ) B1) 既存品の生産・取扱いの停止	
通関委託業者、乙仲業者	C1) 十分なリードタイムでの委託 C2) 書類・情報の不備の低減		C1) C2) 適切なスケジューリングや準備作業により短納期を実現
行政	D1) 環境関連法規制の遵守	法違反により罰則をうける。会社の社会的信用が損なわれる。	
地域の住民・事業者	E1) 地域の環境美化	不適切なゴミ処理で苦情を受ける	
環境側面 (ISO14001 6.1.2項)	1) コピー紙の使用 2) 製品の持つ環境負荷(有害化学物質の含有等)	紙(森林資源)の消費 顧客製品の不法廃棄等による環境汚染(水質、土壌)	顧客ライフサイクル環境負荷の低減
順守義務 (ISO14001 6.1.3項)	1) 廃棄物の排出管理	法違反により罰則をうける。会社の社会的信用が損なわれる。	

▶ 情報セキュリティ

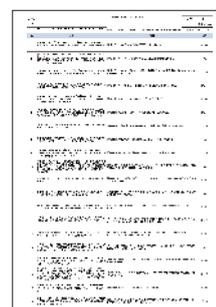
ユナイテッドジャパンは、デジタル化の推進により情報セキュリティの重要性が高まっていることから、全社一括情報管理・共有システムを導入するなど、情報管理をさらに強化しています。

また、情報セキュリティ委員会を設置し、関連規程の整備と情報資産の適切な管理に努めるとともに、社員へのセキュリティ教育を行っています。

情報セキュリティ体制図



情報セキュリティ理解度テスト



情報セキュリティ教育テキスト





▶ CSRマネジメント

事業を継続して展開していくうえで、社員一人ひとりが日々の業務を通じてCSRを推進していくことが重要であると考えています。そこでCSR推進体制を構築し、ステークホルダーと対話しながらマテリアリティ(重要課題)としてKPIなどを設定。PDCAサイクルを回して常に内容を改善して最適なCSR活動の推進を目指していきます。

▶ マテリアリティ(重要課題)の特定

サステナビリティに関する国際的ガイドラインをはじめ、CSR評価機関などが重要視する社会的課題やステークホルダーの意見などを吸い上げ、CSRの重要課題をマテリアリティとして特定しました。

ユナイテッドジャパンのマテリアリティ特定プロセス

- 1 | 検討すべき重要項目の把握、整理
- 2 | ステークホルダーへのアンケート調査実施
- 3 | 有識者とのダイアログ実施
- 4 | 「マテリアリティマップ」の作成と経営者レビュー実施
- 5 | マテリアリティの特定

マテリアリティ内容

- ◎ 防災・減災への取り組み
- ◎ 健康・福祉への貢献
- ◎ 地球環境問題への対応
- ◎ コミュニティ・社会づくり
- ◎ ダイバーシティの推進・啓発

▶ SDGsへの取り組み

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」は、豊かで活力ある未来をつくるため17の目標・169のターゲットを定めて、2030年までの達成を目指す世界規模の取り組みです。ユナイテッドジャパンはSDGsの課題解決を重要な経営課題と捉え、事業活動を通じて目標達成に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に努めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▶ 目標と成果 KPI (重要業績評価指標)

CSR 5つの重要課題	取り組み目標内容	指標	2020年度目標	2020 年度結果	2021年度目標
防災・ 減災への 取り組み	防災・減災に資する商品・サービスなどの提供やさまざまな組織との協働活動を展開し、人々が安心・安全に暮らせる社会を目指す。	防災・減災に資する商品・サービスの調達・提供	継続的な商品・サービスの調達・提供	達成	継続的な商品・サービスの調達・提供
		NPO/NGO等と連携した防災・減災に資する地域貢献活動への参加人数 <取り組みの狙い> 防災教育の普及により、多くの人々の防災に対する意識向上と正しい知識習得を促進、災害ならびに二次災害等の発生減少につなげる。	6人 (2019年度:3人)	達成	7人
健康・ 福祉への 貢献	質の高い介護・ヘルスケアサービスなどの提供や健康・福祉の増進に資する活動を展開し、幅広く人々がよりよく生活できる社会を目指す。	健康・福祉の増進に資する商品・サービスの調達・提供	継続的な商品・サービスの開発・提供	達成	継続的な商品・サービスの開発・提供
		社員への健康増進の取り組み	継続的な社員への健康増進の取り組みの実施	達成	継続的な社員への健康増進の取り組みの実施
		健康・福祉に関する教育機会への参加人数 <取り組みの狙い> 弊社が取り扱っているオムツ、介護関連製品の社内への認知度アップにつなげると同時に正しい使い方も広げられると期待。	累計6人 (2019年度:3人)	達成	累計7人
地球環境 問題への 対応	気候変動への適応と緩和、生物多様性の保全などに新しいソリューションを提供することで、持続可能な社会を目指す。	気候変動の「適応／緩和」に向けた商品・サービスの調達・提供	継続的な商品・サービスの調達・提供	達成	継続的な商品・サービスの調達・提供
		NPO/NGO等と連携した環境保全に関する普及活動・教育機会への参加人数 <取り組みの狙い> 環境保全活動や教育機会への参加により、環境に対する意識・関心を高め、自発的に行動できる人を増やすことで、環境問題の解決を促進。	6人 (2019年度:3人)	達成	7人
		CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	2019年度比:1.5%削減	達成	2020年度比:1.0%削減
		電力使用量 (kwh)	2019年度比:1.5%削減	達成	2020年度比:1.0%削減
		紙の使用量 (t)	2019年度比:1.5%削減	達成	2020年度比:1.0%削減
コミュニティ・ 社会づくり	社会貢献活動や地域の文化振興に資する活動などを通じ、ステークホルダーからもっとも信頼される企業として、よりよいコミュニティ・社会を目指す。	よりよいコミュニティ・社会づくりに向けた取り組み	NGO/NPO等と協働した地域での社会的課題解決に向けた取り組みの実施	達成	NGO/NPO等と協働した地域での社会的課題解決に向けた取り組みの実施
		社会貢献活動への参加人数 <取り組みの狙い> 社員一人ひとりの自発的な社会貢献活動を促進、社会的課題に常に感性を持つ人材を育成し、地域及び地球規模での社会的課題の解決を目指す。	6人 (2019年度:3人)	達成	7人
ダイバーシティの 推進・啓発	基本的人権を尊重し、多様な個性を認め、ダイバーシティを推進することで、社員を含めたステークホルダーが活躍できる社会を目指す。	ダイバーシティの推進・啓発に向けた取り組み	継続的なダイバーシティの推進・啓発に向けた取り組みの実施	達成	継続的なダイバーシティの推進・啓発に向けた取り組みの実施
		女性管理職比率	2020年度末30%に向けた取り組みの継続	達成	2021年度末20%に向けた取り組みの継続

